

友好親善の絆を永遠に 大村市・仙北市姉妹都市提携30周年記念式典行われる

7月10日、角館交流センターにおいて、大村市・仙北市姉妹都市提携30周年記念式典が行われ、旧角館町長名で締結されていた姉妹都市提携に関する協定書を、仙北市長名に改め両市長が再調印いたしました。

姉妹都市の由縁は、戊辰戦争時、東北地方で唯一新政府側だった佐竹藩の援軍として大村藩が駆けつけ、旧幕府軍を角館城内に進軍させることなく戦火から守り抜いていただいたことなどによるもので、昭和54年7月18日、旧角館町と長崎県大村市は姉妹都市提携の調印を行いました。

式典には大村市から松本崇大村市長や廣瀬政和長崎市長をはじめ23名の訪問団が、本市からは石黒市長、佐藤市議会議長ら約100名が出席しました。式では、石黒市長が「戊辰戦争時に大村藩をはじめとした人々が、生命をなげうって戦火から角館町を守ってください、そのご恩は決して忘れることが出来ない。姉妹都市提携再調印を契機に、交流の絆が一層深まることを願う」とあいさつしたのにつき、松本市長が「姉妹都市提携30周年の節目となる今日、仙北市と再調印させていただくことは、誠に喜ばしい。地理的には、約1600kmも離れているが、更に交流の絆を深めていく思いを新たにしているところです」とあいさつし、引き続き両市の民間交流、物産・経済交流に尽力された団体として、大村市から角館町戊辰会と仙北市商工会に、仙北市から大村市吾往会と大村市物産振興協会にそれぞれ感謝状と記念品が贈呈されました。

更に再調印では、協定書に両市長と立会人として両議長が署名し、両市の繁栄を築いていくための努力を継続していく旨の協定書を交換いたしました。



第18回 さくらサミットinせんぼく

第18回目の開催となる「さくらサミット」が7月11日、角館交流センターにおいて「桜・景観」と題したテーマで開催され、桜を絆に結ばれた20の加盟自治体の内、代表8団体が仙北市・角館を舞台に桜と景観、まちづくりを題材に意見交換を行いました。

パネリストとして参加自治体の各地での活動を発表する中、前回開催地であった長崎県大村市の松本市長は、「地域のボランティアによる桜植栽事業で点から線にするための景観作りを推進している」といった現在の活動について述べられました。

全体会議の最後に、石黒市長が「我々の心を癒してくれる桜や町並みは、先人から受け継ぎ守り育て、地域の歴史や文化とともに育まれてきたものである。加盟自治体間で知恵と情報を共有し、桜のある歴史的景観を守り、新たに桜を資源とした景観を作り出し、桜が与える希望のエネルギーを活用し、活力あるまちづくり、人づくりに努めることをここに宣言をする」と開催地を代表し共同宣言をしました。次回は世界遺産で有名な奈良県吉野町で開催されます。

また、全体会議の後、本市出身の作家塩野米松氏の記念講演と、本年3月まで文化財課参事（樹木医）として桜の管理を勤めてきた、黒坂登氏の「文化財として桜を引き継ぐ」と題した報告がありました。



仙北市消防訓練大会が行われました

仙北市消防団となって2回目の仙北市消防訓練大会が7月5日、サンビレッジ角館落合球場駐車場を会場に開催されました。熱い日差しの中にもかかわらず、たくさんの見学者が訪れた中で、小型ポンプ操法の部、規律訓練の部でそれぞれに日頃の訓練の成果を競い合いました。

小型ポンプ操法の部では、10分団の中より23隊が出場し、第1分団2班が優勝。規律訓練の部は、7隊が出場し、第7分団が優勝しました。

なお、各部門とも上位3チームが7月18日に開催の大仙市仙北市美郷町消防訓練大会へ出場しました。

主な結果は次のとおりです。

小型ポンプ操法の部				規律訓練の部			
優勝	第1分団2班	(準優勝)		優勝	第7分団	(5位)	
準優勝	第10分団2班	(3位)		準優勝	第5分団	(13位)	
3位	第8分団2班	(4位)		3位	第3分団	(9位)	

※()は7月18日の大会成績です。

